

令和四年度 会務報告	
令和四年 4月5日 会計監査（本校 第2応接室）	4月8日 正副会長会議（本校 第1応接室）
5月12日 役員会会議（本校 会議室）	5月10日 令和四年度総会（弘前パークホテル）
7月2日 令和四年度総会（弘前パークホテル）	令和五年 2月28日 会報発行
2月28日 令和四年度卒業生同窓会入会式（新入会員 20名）	2月28日 令和四年度卒業生同窓会入会式（新入会員 20名）
3月10日 会報郵送（各支部他25通）	3月10日 会報郵送（各支部他25通）

同窓会の皆様方には同窓会活動に多大なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。五月より新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行となりました。それに伴い各支部の総会も四年振りにスタートとなりました。四月の北海道支部、七月末に三八支部、十月に東青支部、十一月に東海支部、一月の仙台支部総会に出席してまいりました。（三八支部総会出席は北畠昌夫副会長です）

マスクを外し校歌を声高に斉唱し故郷高校時代の話を花を咲かせ楽しい時間をお過ごし当たり前の事が出来る幸せを感じております。

（吉澤俊寿 同窓会会长）

一期一会

吉澤俊寿
同窓会会长



文武一道を目指して

校長

北城高広



同窓生の皆様には、本校の教育活動に対し日頃から格段のご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

五月、新型コロナウイルス感染症が五類感染症に移行したこともあり、本部同窓会総会並びに全国の同窓会支部が盛大に開催されたことに感謝申し上げる

とともに、多数の同窓生どもが、

さて今年度のビッグニュースは成田晴風（はるか）投手が十月のプロ野球ドラフト会議で埼玉西武ライオンズより四指名を受けた事です。プロ野球と言ふう厳しい世界ですが「津軽のじよっぱり魂」で活躍を願っております。又バレー、ボート部では第七十六回全日本バレーボール高等学校選手権大会春の高校バレーリーに出場を決めております。その他にも多くのスピーチ部、ものづくりコンテスト、文化部等の活躍を紹介しきれず申しわけありません。新聞記事を目にするたびに「常に汝の最善である」などと書かれていました。七十五年の歴史に幕を下ろします。会報タイトルを一期一会としました。人生で百十三年目を迎えた本校の歴史と通する事と感じております。

さて、本校は明治四十三年開校以来二万九千百六十名の卒業生を送り出しております。昨年の春も、全日制・定期制併せて二百九名の新入会員を迎えて新たなスタートを切っております。しかし誠に残念ですが令和六年三月に本校定期制は閉課となります。昭和二十三年五月に木材工芸課程を設置し、生徒五十名を募集しスタートしました。千五百八名の卒業生を送り出します。以後も同窓生皆様方のご協力を賜りながら会長の任を務めてまいりますので何



発行所
弘前市馬屋町6の2
青森県立弘前工業
高等学校同窓会

印刷所
やまと印刷株式会社



QRコード

ねて感謝申し上げます。
さて、本会報の「弘生の活躍」には生徒の部活動の結果を掲載しております。今年度も四月に仙台市で行われた「第十四回国際インバーションコンテスト」の国内最終予選会は特筆すべきものです。このコンテストは、デバイスを用いたアプリを開発して、試作した成果を競うという国際コンテストです。本校の情報技術科のチームが京都大学や東北大など名だたる大

学のチームを抑えて見事優勝し、六月京都で開催された世界大会では敢闘賞という快挙を成し遂げてくれました。また、第十八回若年者ものづくり競技大会において、「ロボットソフトラボボール」では第76回全国

令和五年度総会・交流会

文流会



吉澤俊寿 同窓会会长

令和五年度総会は去る七月一日（土）に各支部長及び同窓会役員並びに一般会員（181名）の出席を得て盛大に開催されました。また、第十八回若年者ものづくり競技大会において、「ロボットソフト組込み職種」と「I.Tネットワーカーシステム管理職種」で敢闘賞を受賞しました。この年は、二十歳以下の高等技術専門学校や大学の学生、専門高校の生徒が技術を競う全国大会です。さらに、大鷲町出身で建築科三年、硬式野球部の成田晴風君が大鷲町役場、弘前市役所、青森県県を訪れる団体の報告をしました。宮下知事からは「青森県の誉れだ。青森県を元気にしてください」と激励の言葉を頂きました。

令和五年度総会は去る七月一日（土）に各支部長及び同窓会役員並びに一般会員（181名）の出席を得て盛大に開催されました。新コロナが五類に移行したことにより、四年ぶりに大に開催されました。新コロナが五類に移行したことにより、四年ぶりに大に開催され会員相互に交流会も開催され会員相互に親睦が多いに深められたところです。

関秀則副会長の「開催のことば」で始まり予定されていた案件についてはすべて承認されたところですが、役員改選において副会長の木村康雄氏（A29）が、役員改選において副会長の木村康雄氏（A29）が、役員改選において副会長の木村康雄氏（A29）が、役員改選において副会長の木村康雄氏（A29）が、役員改選において副会長の木村康雄氏（A29）が、役員改選において副会長の木村康雄氏（A29）が、

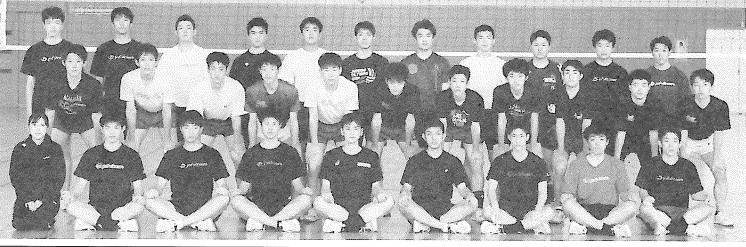
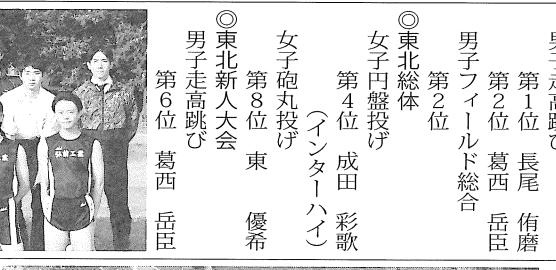
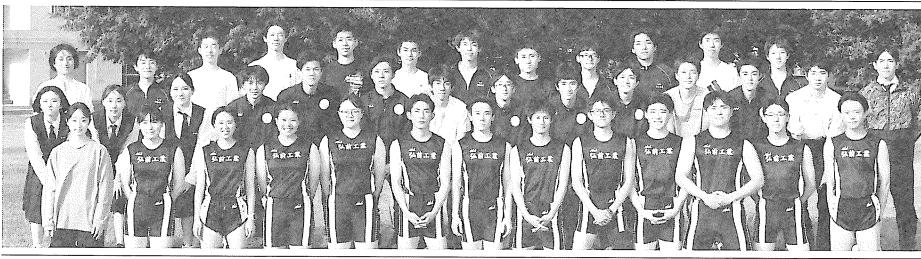
このように生徒たちは、職員一同、一致協力して指導にあたつてまいります。同窓生の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。同窓生の皆様の益々のご活躍を心からお祝いいたします。同窓生の皆様の益々のご活躍を心からお祝いいたします。同窓生の皆様の益々のご活躍を心からお祝いいたします。

令和5年度 青森県立弘前工業高等学校同窓会総会・交流会

新入会員の皆様



母校だより

 <p>◎春季大会 優勝 ◎高校総体 優勝 ◎新人大会 優勝 ◎選抜大会 4年連続44回目</p>		<p>バレー・ボーラー部</p>	
<p>硬式野球部</p> <p>◎全国選手権大会 青森大会 弘工対光星敗退</p>		 <p>◎春季大会 第2位 ◎陸上競技部</p>	
<p>女子抱丸投げ 第2位 東</p> <p>男子走高跳び 第2位 成田</p> <p>女子内盤投げ 第2位 成田</p> <p>男子走高跳び 第2位 成田</p> <p>女子内盤投げ 第3位 東</p> <p>男子走高跳び 第3位 成田</p> <p>女子抱丸投げ 第3位 東</p> <p>男子走高跳び 第3位 成田</p> <p>女子内盤投げ 第2位 成田</p> <p>男子走高跳び 第2位 成田</p> <p>女子フィールド総合 第2位 彩歌</p>		 <p>◎春季大会 優勝 ◎東北新人大会 第8位 東 優希 ◎高校総体 優勝 ◎秋季大会 ベスト4</p>	
 <p>◎春季大会 第4位 成田 彩歌</p>		<p>◎新入大会 第1位 長尾 侑磨 第2位 葛西 岳臣</p>	
 <p>◎春季大会 優勝 ◎東北新人大会 第6位 葛西 岳臣</p>		 <p>◎春季大会 第4位 成田 彩歌 (インターハイ) ◎東北新人大会 第6位 葛西 岳臣</p>	
<p>◎春季大会 第1位 長尾 侑磨 第2位 葛西 岳臣</p>		<p>◎春季大会 第3位 男子学校対抗戦 男子学校対抗戦 第3位 ◎新人大会 第3位 男子団体戦 男子団体戦 第3位</p>	
<p>◎春季大会 第5位 石田 康次郎 第1位 相馬 祥希</p>		<p>◎春季大会 第1位 石田 康次郎 第2位 相馬 祥希</p>	
 <p>◎春季大会 第5位 石田 康次郎 個人戦 第5位 石田 康次郎</p>		 <p>◎春季大会 第1位 石田 康次郎 第2位 相馬 祥希</p>	
<p>◎春季大会 第1位 石田 康次郎 学校対抗戦 第1位 石田 康次郎</p>		<p>◎春季大会 第1位 松田 佳大 第2位 二戸 海斗 第3位 春樹 駿吾</p>	
<p>◎春季大会 第1位 石田 康次郎 学校対抗戦 第1位 石田 康次郎</p>		<p>◎春季大会 第1位 松田 佳大 第2位 成田 大河 第3位 吉村 駿吾</p>	
<p>◎春季大会 第3位 吉村 駿吾 ライト級 第1位 松田 佳大 第2位 吉村 駿吾 第3位 新山 開羅</p>		<p>◎春季大会 第1位 松田 佳大 第2位 成田 大河 第3位 吉村 駿吾</p>	
<p>◎春季大会 第3位 吉村 駿吾 ライト級 第1位 松田 佳大 第2位 吉村 駿吾 第3位 新山 開羅</p>		<p>◎春季大会 第1位 松田 佳大 第2位 成田 大河 第3位 吉村 駿吾</p>	
<p>◎春季大会 第3位 吉村 駿吾 ライト級 第1位 松田 佳大 第2位 吉村 駿吾 第3位 新山 開羅</p>		<p>◎春季大会 第1位 松田 佳大 第2位 成田 大河 第3位 吉村 駿吾</p>	
<p>◎春季大会 第3位 吉村 駿吾 ライト級 第1位 松田 佳大 第2位 吉村 駿吾 第3位 新山 開羅</p>		<p>◎春季大会 第1位 松田 佳大 第2位 成田 大河 第3位 吉村 駿吾</p>	
<p>◎春季大会 第3位 吉村 駿吾 ライト級 第1位 松田 佳大 第2位 吉村 駿吾 第3位 新山 開羅</p>		<p>◎春季大会 第1位 松田 佳大 第2位 成田 大河 第3位 吉村 駿吾</p>	
 <p>弓道部</p>		<p>◎東北大会 第2位 松田 佳大 第3位 松田 佳大 第4位 松田 佳大 第5位 松田 佳大</p>	

◎春季大会 第3位 女子団体 平川 根岸 瑞穂 真央

◎春季大会 第3位 男子個人 太田 三上 花美 春紗

◎高校総体 90 kg級 第3位 成田 小山内 寛汰

◎高校総体 90 kg級 第3位 相澤 光希

◎春季大会 男子個人 73 kg級 第3位 成田 小山内 寛汰

◎春季大会 男子個人 73 kg級 第3位 相澤 光希

柔道部

テニス部

男子団体 第3位 男子ダブルス 第3位 杉澤 風雅

男子団体 第3位 男子ダブルス 第3位 木村 淩雅

◎総合文化祭放送部門大会 「おじいちゃんは二刀流」 第1位 放送部

◎サマーフェスティバル大会 第8位 女子組 藤元 彩子

◎男子50m自由形 第4位 山下 海王

◎高校総体 男子50m自由形 第4位 山下 海王

水泳部

◎青森県吹奏楽大会 高等学校小編成の部 銅賞

吹奏楽部

美術部

◎青森県高等学校総合文化祭 優良賞 小山内 遊

◎第31回全国大会福井大会 チーム響 出場

◎第14回国際イノベーションコンテスト国内最終予選 第1位 工業科

◎第14回国際イノベーションコンテスト世界大会 敢闘賞 横山 鈴木 佐藤 鳳花 遊雲 読瀧生

競技口ボット部

電子回路組立部門 第7位 江口 鉄馬

◎木材加工部門 第1位 吉田 うらら

◎建工科 第1位 吉田 うらら

◎電子回路組立部門 第7位 江口 鉄馬

◎建工科 第1位 吉田 うらら

「第18回若年者 ものづくり競技大会」

建工科

建工科

◎建工科 第1位 吉田 うらら

◎建工科 第1位 吉田 うらら

◎情報技術科 第1位 吉田 うらら

◎情報技術科 第1位 吉田 うらら

◎建工科 第1位 吉田 うらら

写真部

家庭クラブ

成田晴風選手 埼玉西武ライオンズ入団激励会

令和五年十一月二十五日、市内のホテルにて入団激励会が開催された。はじめに主催者を代表して実行委員長である佐々木秀美氏(硬式野球部OB会長)が開会の挨拶、その後、弘前市長・大鷲町長より来賓祝辞。校長からは成田選手の紹介が行われた。本人からは「早く一軍に上がって、木材加工部の名を背負いながら活躍し、世界の舞台でも戦えるような選手になりたい」と決意表明された。

その後、ユニフォーム姿に着替え再登場、会場内からは歓声があがった。野澤武同窓会名誉会長による乾杯の御発声の後は宴に突入、壇上の選手などには、終始記念撮影の列が続いていた。

時間はあつという間に過ぎ、終宴、最後に本人から約百三十名の出席者に記念サインボールが手渡され出席者を見送った。

支部だより

関西支部

創立三十周年を回憶

関西支部は二〇二〇年以降、COVİD-19の感染拡大により、会員の超高齢化と不急の外出を控えることでの事業活動が殆ど停滞しています。若かりし頃の会員の一面を披露させていた

れることになりました。

京都駅を出発して伏見観光へ。幕末の動乱の爪痕（弾丸や刀傷等）が残る船宿だった「寺田屋」に。故小野敏信元支部長が「おらだきや、あがるほんどう來るはんに行がねじや」と車内待機。ガイドの丁寧な説明に聞きながらも速やかに車内に戻ることに。創業から三百八十四年を超える酒蔵「月桂冠」では、先ずは「利き酒コーナー」で喉を潤し、展示室では貴重な史料や用具類、今も使用している井戸、そして限定品とお土産品を販売する売店、思い思いに思い出が詰まつた観光地を後に一路大原へ。

頭に関西地区（大阪・京都・奈良・神戸）を巡回しながら開催することも選択肢となりました。

会場は、千四百三十年前、聖徳太子が父の菩提寺として建立された天台宗の尼寺「寂光院」の近く、大原の里山に囲まれ、若狭街道の中継地として賑わい、大原女たちが頭に柴を載せて京の町まで売りに歩いた沿いの「旅莊・茶谷」です。

予定では貸切バスで名勝

地を巡り、会場まで乗り付

け、翌日も貸切バスで観光する計画でしたが、思いもよらぬハプニングに踊らさ

となく、仮眠状態で雨の朝

にいました。

（関西支部 木田貞明）

士は、勢いよく祇園で京の都を夜通し堪能し、朝日とともに戻ってきました。

皆が睡眠不足のままバス

に乗り込み、平成六年にユネスコ世界遺産に登録され

た日本仏教の母山と崇めら

れている「比叡山」に向か

おうとした矢先、「雨降っ

てるはんで山さ行ぐじ辞め

ろじや」と天の声が。逆ら

える選択肢はなく、故菅原

健一前支部長と幹事は大慌

て昼夜までの時間でどこ

で調整しようか?どこに

行つたらよいのか?と右往

左往。

差し障りのない答えは、

世界遺産の「平等院」見学

で軟着陸。藤原一族の榮華

を極めた平安時代後期、貴

族たちが極楽淨土を描いた

阿字池に浮かぶ「鳳凰堂」。

日本三名鐘の一つに数えら

れる「梵鐘」。極樂淨土を

地上に再現した「淨土式庭園」。平等院に鎮座する本尊・阿弥陀如来坐像（国宝）。

優雅な平安朝を偲び、堪能

した面々は酔いも冷め、記

念総会に相応しい珍道中で

幕を占めることができまし

た。

何處で昼食を摂ったのか

は未だに思い出せません。

昨日の如く脳裏に刻まれて

います。残念ながら、この

総会を語り合える方は、ほ

ぼ居られなくなりました。

翌年は「奈良」。翌々年

は「阪神淡路大地震」が発生した「神戸」で開催して

新型コロナで令和二年度から四年度まで支部総会を自肅して参りました。

令和五年度の総会は、七月二十一日(金)午後六時から八戸市内の「魚や吟翠」にて開催することが出来ました。

総会には本部より北畠副会長はじめ、北城校長先生、五十嵐涉外部長のご臨席をいただき、和やかな雰囲気の中、無事審議を終了いたしました。

総会には会員十三名の出席がありました。しかし、当会員も年々高齢化し、減少していますので懸念致しております。

最後になりましたが、母

親懇親会では物故者に対する黙祷を行い、校歌を斎唱したあと、北畠副会長から

総会の今後の活動方針等のお話をいただき、北城校

（三八支部長 奈良正人）

三十以前、関西支部初の試みとして、東海支部との合同で宿泊型の「創立三十周年記念総会」が賑やかに開催されました。そして、これが契機に宿泊型総会を始めた。

だきます。

（関西支部 木田貞明）

大館支部

三十以前、関西支部初の試みとして、東海支部との合同で宿泊型の「創立三十周年記念総会」が賑やかに開催されました。そして、これが契機に宿泊型総会を始めた。

だきます。

（関西支部 木田貞明）



令和5年度東青支部の総会及び交流会は十月七日午後六時から青森市「アラスカ」においてご来賓に吉澤同窓会会长、学校より北城校長先生、涉外部の五十嵐先生のご出席を賜りました。

総会では前田支部長、ご多方面にわたる活躍についてご報告をいただき有難うございました。

議事では事務局から新型コロナ感染症拡大の影響で活動ができなかつたことの報告や会計報告、事業計画案と予算案が出来ました。

最後に母校の校歌を斉唱し総会を終了いたしました。

から弘工健児の活動状況を映像により詳しく紹介していただき大変好評でした。交流会での余興と合唱曲を終了いたしまして今回は青森県を拠点に活動するローカルアーティスト横山ひできさんが漫談やマジックショウ、津軽三味線演奏やかすみさんによる歌謡ショウがありました。各支部とも共通課題である会員の高齢化と出席者数の減少についても皆様に声掛けをしていきたいと思います。

令和5年度の総会は三九名中二一名と同窓会会長吉澤俊寿、校長北城高広先生、涉外担当五十嵐治男先生の出席で令和六年一月二十四日(水)に仙台市内のハーネル仙台で開催することとしました。

女子円盤投げの成田選手は惜しくも決勝戦に進めませんでした。

男子バレーは、初戦で前高校の女子がインターハイに出ていることに驚きました。

今後とも、母校の益々の隆盛と同窓会会員の皆様のご健康とご活躍を心からご祈念申し上げます。

(支部長 笠 光明)

東青支部

た石川県能登半島で被災された方々へ心からご冥福をお祈りいたします。

北海道支部

板柳支部

お祈りいたしましたが、母最後になりましたが、母

支部総会を四年ぶりに開催しました。

令和五年四月二六日に、本部の吉澤会長、北城校長、五十嵐事務局長が忙しい中、遠路はるばる駆けつけて下さり、久しぶりの支部総会を開催することが出来ました。

年当初は今年も開催が厳しいかと思いましたが、「開催するべし」の声が多く開催を決定しました。

これまでには総会も開催できず会員の皆様との交流が難しい状況が続き、残念ながら心強かつた仲間がご逝去されました。しかし、参加予定の会員が支部総会直前に入院等体調不良が相次ぎ、少人数となりましたが、はるばる根室から参加の吉谷廣美さん(建築・S三一卒)や、初参加の小山善幸さん(土木・H六卒)の参加もあり総会を行いました。

三年度版の弘工高同窓会名簿が発刊されたことから改めて宮城県内の同窓会会員の見直しを行い、一四三名の会員に総会開催の案内を行いました。

(支部長 笠 陸男、浅利晴雄)



盛と会員の皆様のご健康と同窓会本部の活動状況や母校健児の学業、スポーツ等多方面にわたる活躍についてご報告をいただき有難うございました。

議事では事務局から新型コロナ感染症拡大の影響で活動ができなかつた弘工高同窓会仙台支部の総会は新型コロナウイルスの感染予防のため令和二年度から令和四年度は開催しませんでしたが、役員会において令和五年度の総会の開催を決定したことと、令和三年度版の弘工高同窓会名簿が発刊されたことから改めて宮城県内の同窓会会員の見直しを行い、一四三名の会員に総会開催の案内を行いました。

年当初は今年も開催が厳しいかと思いましたが、「開催するべし」の声が多く開催を決定しました。

これまでには総会も開催できず会員の皆様との交流が難しい状況が続き、残念ながら心強かつた仲間がご逝去されました。しかし、参加予定の会員が支部総会直前に入院等体調不良が相次ぎ、少人数となりましたが、はるばる根室から参加の吉谷廣美さん(建築・S三一卒)や、初参加の小山善幸さん(土木・H六卒)の参加もあり総会を行いました。

三年度版の弘工高同窓会名簿が発刊されたことから改めて宮城県内の同窓会会員の見直しを行い、一四三名の会員に総会開催の案内を行いました。

(支部長 笠 陸男、浅利晴雄)

令和六年一月一日の大震で甚大な被害を受け有難うございました。

令和六年一月一日の大震で甚大な被害を受け有難うございました。

令和五年四月二六日に、本部の吉澤会長、北城校長、五十嵐事務局長が忙しい中、遠路はるばる駆けつけて下さり、久しぶりの支部総会を開催することが出来ました。

年当初は今年も開催が厳しいかと思いましたが、「開催するべし」の声が多く開催を決定しました。

これまでには総会も開催できず会員の皆様との交流が難しい状況が続き、残念ながら心強かつた仲間がご逝去されました。しかし、参加予定の会員が支部総会直前に入院等体調不良が相次ぎ、少人数となりましたが、はるばる根室から参加の吉谷廣美さん(建築・S三一卒)や、初参加の小山善幸さん(土木・H六卒)の参加もあり総会を行いました。

三年度版の弘工高同窓会名簿が発刊されたことから改めて宮城県内の同窓会会員の見直しを行い、一四三名の会員に総会開催の案内を行いました。

(支部長 笠 陸男、浅利晴雄)

東青支部

た石川県能登半島で被災された方々へ心からご冥福をお祈りいたしました。

令和五年四月二六日に、本部の吉澤会長、北城校長、五十嵐事務局長が忙しい中、遠路はるばる駆けつけて下さり、久しぶりの支部総会を開催することが出来ました。

年当初は今年も開催が厳しいかと思いましたが、「開

催するべし」の声が多く開催を決定しました。

これまでには総会も開催できず会員の皆様との交流が難しい状況が続き、残念ながら心強かつた仲間がご逝去されました。しかし、参加予定の会員が支部総会直前に入院等体調不良が相次ぎ、少人数となりましたが、はるばる根室から参加の吉谷廣美さん(建築・S三一卒)や、初参加の小山善幸さん(土木・H六卒)の参加もあり総会を行いました。

(支部長 笠 陸男、浅利晴雄)

○理 事		相監 役		副会名 長		顧問	
太吉	小佐藤	岩	鎌	小中船	藤澤木	下境	木
山	外事	事	事	齊福	小関	成川	清北
田澤	内藤	平	寺	藤島	内	田嶋	澤
浩葉	高勇	光章	健輝	信正	康	彦丈	廣
幸子	幸一	一	穂	史	眞	昌	晃
	穂	弘	裕	豊	徳	雅	俊
	造	史	克	徳	則	隆	高
A A A A	B E C M T T A A	D C M	C E C C M H I A A	I	M A	校 C F A	
55 53 51 50 47 43	51 32 43 40 45 42 41 29	59 49 49	56 51 60 47 56 2 56 56 55	51	29	長 31 39 20	

同窓会理事
(印常任理事)

前成村玉高佐花三菊古工三田本花加相三齋長原石小木齋佐三山芳木小長藤佐竹小志大梅須石田石三後村橋佐福奈工良田田田橋藤田田上池川藤上中間岡藤馬浦藤内田代桐村藤藤國本賀村桐川田藤内林村森村藤澤中岡上藤上藤士岡藤

一正 沙駿恵邦康祐 金嘉和重房清 誠諒正 美誠伸 正宣博真洋聖麻吉暁 久義善健秀英寛隆
矢 修成美清香丞郎彦太司健武誠夫章哲憲正徳雄美一隆郎太将樹徹透範二一等義勝之弓子子恵子夫寿昭夫洋一孝樹志人司

E E C C C C C C C C M M M I I I A A A A A
H H E E H H H H H H C C C C C C C H M M M M M M M H H H I I I T T F H H H H H A
3 1 63 47 22 18 11 7 6 6 2 1 1 57 56 56 54 53 52 48 48 41 35 34 18 9 61 58 58 51 47 44 41 41 39 21 13 6 6 4 59 55 44 44 39 14 9 7 6 4 1 56

笹田	野澤	吉澤	船水	七方五千円の協力者	たった今、御礼を述べます。また、御贈り物を掲載します。	力が大きくなり、御礼を述べます。今年一月一日(令和五年一月一日)にかえさせていたまつた。	運営協力費を今後も一層のご協力を下さい。
陸男	三万円の協力者	四万円の協力者	五万円の協力者	六万円の協力者	七万五千円の協力者	今年度は八十七名から四十八万四千五百円の協力費をございました。	成外中藤井黒工佐小後田崎畑畑田上滝藤枝藤晃勝雅智琢英行文祐人康人肇彦俊生郎弘人介
C 37	A 29	M 51	T 45			今年度は八十七名から四十八万四千五百円の協力費をございました。	S H D D D H B B B B E E H 4 54 53 52 3 60 60 56 51 10 13

小本館長浅大佐立奈福塚岩外	藤工花工山関丹藤口本阿保清野太居	佐藤田崎	十吉三前小片川浦田倉山	木村
中間山内利久々田花良岡木桐	藤田島藤田藤口本阿保清野太居	六千円の協力者	一洋信英廣	光明雄
雅嘉伸晴祐夫雄二美一勤人昭弘男造郎	智邦津秀明清茂誠由浩松男		太司之進	2
A C C C C C C C C H A A A A 33 56 54 54 43 38 37 34 18 1 55 52 49 43	B C H E H C C C C C C M M I A A 3 51 7 58 51 47 46 43 38 47 39 56 55 40	E M A 33 36 49	C D E H C A A 52 41 2 51 46 42	E A 41 29

藤工岩棟小伊相菊三渡櫻丹相齋夏山八松志川西藤奈駒白橘須吉藤吹竹藍奈松三白淺田藤平方田藤馬池上辺庭藤馬藤目本木江村嶋沢田良井山藤澤田田森木良川上取利桐

払込先	浩艶光弘俊鉄弘英金則金弘一徳藤洋史良正芳太萌秀正葉昌正正俊能	外中黒福佐々木
口座記号番号		上縦
ゆうちょ銀行		勝琢磨生潤男
00170-2-107631		
加入者名		
青森県立弘前工業高等学校同窓会	D D B E E E R R B B B R E E E E C C C R M M M H T T F R R H A A A A A A A A A A A A A A A A 5 5 51 47 46 5 62 56 48 41 32 41 40 35 5 58 36 30 6 2 44 42 39 5 5 7 56 53 47 45 41 39 38 37 32 29	D D B E E E 54 52 60 63 44 33

支部長名簿

青森県立弘前工業高等学校同窓会

令和6年2月～

支部名	卒年	支部長名	郵便番号	現住所	電話番号
関 西	C42	木 田 貞 明	569-0094	大阪府高槻市緑町3-29-103	072-670-4850
東 海	A46	小 倉 信 英	437-0124	静岡県袋井市沖山梨154-6	0538-49-1300
東 京	E41	戸 田 則 男	230-0034	神奈川県横浜市鶴見区寛政町27-5-703	045-505-3454
北 海 道	C37	笹 田 陸 男	059-2243	北海道沙流郡日高町厚賀町106-1	01456-5-2526
仙 台	A44	福 土 良 一	981-0901	宮城県仙台市青葉区北根黒松7-53 コープワーフィングフォー102	
盛 岡	C51	花 田 正 喜	020-0807	岩手県盛岡市加賀野1-9-40-603	019-663-1423
大 館	A19	日 景 久 吉	017-0043	秋田県大館市有浦1-8-53	0186-42-0101
大館支部長代理	E41	渡 辺 勝	017-0024	秋田県大館市大茂内字諏訪下138	0186-48-3531
三 八	A38	奈 良 正 人	031-0822	八戸市白銀町字姥煙4-18	0178-31-3750
十 和 田	C43	山 口 清 隆	034-0001	十和田市三本木字西小稻209-8	0176-22-0558
東 青	C51	前 田 進	030-0958	青森市月見野一丁目3-3	090-8256-3532
西 つ が る	F35	天 野 武 忠	038-2744	西郡鰐ヶ沢町漁師町76	0173-72-4128
北 五	C60	今 俊 順	037-0004	青森県五所川原市唐笠柳字藤巻727-10	0173-33-6120
板 柳	A59	佐 々 木 秀 美	038-3661	北津軽郡板柳町大字福野田字増田1-15	0172-73-4189
大 鰐	A42	片 山 雄 廣	038-0212	南郡大鰐町大字蔵館字湯ノ沢4-3	0172-47-6788
平 川	M46	三 浦 稔	036-0103	平川市本町平野24-1(第2平野ビル2F)	
下 北	C41	事 務 局 村 田 幸 雄	035-0072	むつ市金谷2-18-63	0175-22-8999
藤 崎	A46	加 福 哲 三	038-3802	南郡藤崎町藤崎字西豊田56-4	0172-75-3401
浪 岡	T46	佐 藤 道 留	038-1332	青森市浪岡大字下十川字宮本37-2 事務局長田川孝則	090-2276-6927

七六五四三二一、趣意
同窓会運営協力費納入依頼趣意書
運営協力費納入依頼趣意書
同窓会運営協力費の納入により
本会財政への援助を図る
特別に定めていません
本会全員
一人二千円から
本会事務局
郵便払込取扱票及び事務局窓口
次回会報に掲載して報告する

会報についての連絡
同窓会会報は平成24年
年に発行より全同窓生
に送付しておりません
学校ホームページで
掲載と希望者のみへ
の発送としております
のでご承下さい。



第1・第2回卒業記念写真

“やつと仕事が終わつた
じゃ、さあ、学校さ行ぐべ”
自動車で、バイクで、自
転車で、そして歩いて通
い、大変な状況を乗り越え
卒業した生徒二五〇八名。
卒業で本校定時制課程は閉
まつた。今年度一名の最後の生徒の
課程となり、七十五年もの
長い歴史に幕を下ろすこと
となる。少し歴史を振り
返つてみたい。

まず、本校全日制課程は
昭和二十三年四月青森県立
弘前工業学校から現在の青
森県立弘前工業高等学校と
なる。感動を呼んでいた。

越後分校を設置し別科(家庭
科)及び機械課程を募集し
た経緯もあつたが、昭和三
十五年三月、この堀越分校
は廃止となる。昭和三十八
年三月木材工芸課程を工芸
科に改める。そして、アーティ
リア科と改める。昭和二十
八年から一時期、堀
越分校を設置し別科(家庭
科)及び機械課程を募集し
た経緒もあつたが、昭和三
十五年三月、この堀越分校
は廃止となる。昭和三十八
年三月木材工芸課程を工芸
科に改められた。

當時は平成となり、定時制
課程の役割も少しずつ変化
する中、平成十二年四月、機
械科、電気科、インテリア
科を統合して工業技術科の
一学科にするなど、生徒の
柔軟な学習機会の確保に対
応したが、少子化という時
代の大きな流れの中で、令
和三年四月、生徒の募集を
停止。令和六年三月、本校
定時制課程は閉課程とな
る。

七十五年という歴史を振り
り返る事業の中で、定時制
課程卒業第一期生である、
大先輩(花田恒男さん)と
伊藤有との奇跡の対談
が実現できた。対談の中で
が実現できた。対談の中で
花田さんは、二度ずつ休み
をしたエピソードで笑いを
誘う中「自分がいいと思つ
た仕事は辞めずに最後まで
やり続けること」との大き
なエールが感動を呼んでいた。

七十五年の歴史と共に ありがとう！弘工高定時制

ここで閉課程事業のロゴ
マークをデザインした伊藤
君の思いを紹介する。

最後に、同窓会ならびに
後援会、これまで支援をい
たいたすべての関係者の
皆様方に敬意を表すとど
もありがとうございます。

奇跡の対談の様子

運動会 1982年(昭和57年)

校舎 1964年(昭和39年)
生徒会誌第4号掲載

校舎 1977年(昭和52年)
生徒会誌第18号掲載

校舎 2015年(平成27年)
生徒会誌第56号掲載

遠足 1990年(平成2年) 岩木山

部活動 バレーボール県大会優勝
1990年(平成2年)

生徒生活体験発表会

遠足1992年(平成4年)十和田湖

佐久 相高 小山 藤田 田駒 三戸
藤保 内坂 川田 嶋村 中井 戸戸
里 武喜 久秀 淳勝 鐵誠 究欣 義
司 美男 隆一 義明 一仁 明一 仁

C C C C C M M M A A F
40 37 33 26 18 37 24 24 56 39 36

会員
計
報

会員
計
報

H 定時制
H 敬称略、数字は卒業年、
H は平成、その他は昭和

情報技術科	電子機械科	電気子科学	電気木科学	機械木科学	建築科
S	D	B	E	C	M

令和五年二月から令和六
年二月までに逝去が判明し
た会員のご芳名です。

心から冥福をお祈り申
上げます。

会員
計
報

令和5年度 進路状況()は女子内数

在籍数	就職			進学						令和6年1月18日現在			
	県内	県外	公務員	大学	短大	職業能力開発施設	専修学校各種学校	希望者数合計	145(28)	61(13)	全体に対する割合	70.4%	29.6%
206(41)	県内	県外	公務員	大学	短大	職業能力開発施設	専修学校各種学校						
希望者数	49(10)	79(12)	17(6)	49(11)	2(0)	5(0)	5(2)						
内定・合格者数	49(10)	79(12)	17(6)	49(11)	2(0)	5(0)	5(2)						
出願中・未定	0	0	0	0	0	0	0						
合 格 率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%						
希望者数合計								61(13)					
全体に対する割合									29.6%				

都道府県別 [就職145名・進学61名]

県名	青森県	北海道	岩手県	宮城県	山形県	福島県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	石川県	愛知県	大阪府	島根県
就職	57	1	-	28	-	-	1	4	7	31	10	1	-	3	1	1
進学	22	1	1	11	1	6	-	5	4	4	1	-	2	2	1	-
合計	79 (38.3%)	2	1	39	1	6	1	9	11	35	11	1	2	5	2	1

次に公務員組ですが、公務員志望者は生徒数の割合から多くはありませんが、昨年に比べ約二倍の生徒が国家・地方に合格しています。これも長い時間を掛け、根気強く努力した結果の賜物だと思います。

最後の進学組ですが、志望者の殆どが志望校に合格したことからも、こちらに関しましても生徒の強い頑張りが感じられます。特に、国公立志望者の頑張りには目を見張るものがあり、国公立志望者が志望校に合格していることです。結びにあたり、これらの結果はひとえに本校卒業の先輩方の努力が学校への評価に繋がりそしてそれが現役生への評価に繋がっています。同窓会の皆様におかれましては、日頃のこ支援やご指導、激励に深く感謝を申し上げるのもと思います。同窓会の皆さんますますのご活躍をご祈念申し上げます。

准路指導部主任
藤田宏

今年度の進路活動状況は、コロナウイルス感染症の扱いが第五類に移行したこともあり、振り回されることは殆どなく、感染症が流行する前の状態に戻つたと思います。当然、企業は生の見学・体験をし、真剣に自分の進路に向き合うことができたと思います。

まず、就職組に関しては、今年度も売り手市場で相応苦労しているのが感じられ、全ての企業の期待に応えることができなかつたことに大変恐縮しています。

状態で製造系や建設系を主に絶好調がありました。求人件数も二次募集を含むと約三千ほどで、どの業種においても人材不足な状態です。相手市場で相応苦労しているのが感じられ、全ての企業の期待に応えることができなかつたことに大変恐縮しています。

じられ、全ての企業の期待に応えることができなかつたことに大変恐縮しています。

卒業生累計

〔令和6年3月卒業生含む〕

課程	旧 制						新 制				計			
	科	本科	第2本科	第2部	選科	専修科	全 日 制		定 時 制					
							男 子	女 子	男 子	女 子	男 子	女 子		
木 工	156						11				167			
漆 工	43						5				48			
建 築	753	208			15	10			3,984	501	4,970	501		
インテリア(木材工芸・工芸)	269				42	9			1,629	1,111	2,231	1,156		
機 械	786	319	76		13	10			4,154	10	6,012	10		
土 木	438	213							4,374	67	5,025	67		
電 気	100								3,615	28	4,079	35		
電 子									2,018	144	2,018	144		
情 報 技 術									1,387	456	1,387	456		
電 子 機 械									886	21	886	21		
工業技術科										133	24	133	24	
合 計	2,545	740	76		70	29	16		22,047	2,338	1,433	76	26,956	2,414
		3,361				115			24,385		1,509		29,370	

旧制 青森県立工業学校(明治43年以降)
青森県立弘前工業学校(昭和10年度以降)

〔卒業された皆さんへ〕証明書の発行について

本校を卒業され、社会の一員として又は学生として各地で活躍されていることだと思います。今後各種試験の受験、免許・認定の取得の機会があるかもしれません。その際に必要な証明書発行の申請は、左記の要領で本校事務室の窓口に出でになるか、事務室を経由して郵送又は電話で申し込んでください。(様式は自由です。)なお、FAX・メール等での申し込みは本人確認ができないため受け付けておりません。

平成17年4月1日の個人情報保護法施行に伴い、手続方が変わったので注意ください。

II.手続き方法II

左記の4点を事務室宛に一括して提出ください。不備があると証明書の発行ができませんので注意ください。

1. 申し込み用紙
申込用紙として、メモ帳・便箋・レポート用紙等次の項目を記入してください。
できれば、本校ホームページから『證明願』をダウンロードして利用ください。

2. 申込用紙のダウソード・証明願 (Request)

3. 卒業時の氏名(英文の証明書を必要とする場合)・生年月日
・卒業年月
・卒業学科
・卒業学科

4. 必要な証明書の種類と枚数
・使用目的(○○資格取得申請のため等、簡潔に)
郵便番号・住所・電話番号(携帯電話可)
申込用紙として、メモ帳・便箋・レポート用紙等次の項目を記入してください。
*特に指定された証明紙がある場合は、その用紙を同封してください。
返信用封筒(封筒は長形3号の定形サイズ)※来校の場合は不要!!
郵便番号・住所・氏名(本人宛に限る)を明記し、切手を貼ったもの。

本人以外で郵送を希望する場合は、左記「本人以外の申請又は受取りについて」をご覗ください。

1. 申込用紙2枚以内…84円切手貼付
証明書2枚以内…94円切手貼付
証明書3枚以上…94円切手貼付
速達を希望する場合は、さらに200円分の切手を加算してください。
*特に指定された証明紙がある場合は、その用紙を同封してください。

2. 発行手数料は証明書1通につき450円です。(青森県収入証紙で納付)
身分証明書(運転免許・健康保険証・パスポート等公的などのもの等)
本人からの申請であることを確認するため、「身分証明書の写し」を持参又は同封してください。なお、提出いたいた写しは、法令による場合を除き、証明書発行に係る本人確認以外の目的には使用しません。

*本人以外の方が申請又は受け取りを行う場合について、親族の方も含む)
原則として「本人以外からの申請及び本人以外の受け取り」は受け付けていません。ただし、海外在住等やむを得ない場合には、代理人による申請を受け付けています。上記の4点に加え、下記のものを提出してください。
1. 本人自筆による署名捺印のある委任状(様式自由)
2. 代理人の方の身分証明書の写し

3. 証明書の種類
現在、本校で発行している証明書は以下のものです。
*本人以外の方が申請又は受け取りを行う場合について、親族の方も含む)
右記以外の証明書を必要とする場合は、事前にお問い合わせください。

〔発行にする期間〕
来校の場合
土・日・祝日を除く8時から16時30分まで。
郵送の場合
申請後、土・日・祝日を除く2日間程度。郵送に要する期間も必要となりますので、余裕をもって申込みください。

〔申し込み・お問い合わせ先〕
〒036-8585 弘前市大字馬屋町6の2
青森県立弘前工業高等学校 事務室 TEL 0172-32-6241

会員登録の申込へ

〔発行する期間〕
来校の場合
土・日・祝日を除く8時から16時30分まで。
郵送の場合
申請後、土・日・祝日を除く2日間程度。郵送に要する期間も必要となりますので、余裕をもって申込みください。

〔申し込み・お問い合わせ先〕
〒036-8585 弘前市大字馬屋町6の2
青森県立弘前工業高等学校 事務室 TEL 0172-32-6241

学校からのお知らせ